



御殿場

Rotary Weekly Report

国際ロータリー第2620地区

ロータリークラブ

週報

ロータリークイズ

S A A って何の略？ ずばりお答え下さい。

先週のロータリークイズの答え

B の昭和44年でした

例会 場 / 東山荘

開会点鐘 / 12:30

ロータリーソング / 四つのテスト

内容 / 新世代に因んで
小山町教育長 池谷俊一氏

次回11月2日(1965回)の例会

12:30点鐘 ガバナーエレクト卓話 東山荘

会員慶事

結婚記念日

10月31日 小野篤之君・茂子様 ご夫妻
皆出席

10月20日 斉藤礼志君(1年)

10月23日 狩野住夫君(3年)

10月23日 根上陽一君(3年)

10月24日 井口修一君(15年)

会長挨拶 土屋闊正



今日は、残念なお知らせをしなければならなくなりました。

御殿場ロータリークラブ元会員であります岩田英治様が、平成18年10月19日0時16分にご逝去されました。岩田英治様はチャーターメンバーであり、40年間御殿場ロータリークラブには、多大なる貢献をなされた方です。体調を崩されて、今年6月に退会され療養されていましたが、在りし日のお元気なお姿を想うと誠に残念であります。謹んで哀悼の意を表すると共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

富士山の初冠雪が10月7日に観測されました。平年より6日遅く、昨年より4日早い。雪がいつ降ったかは不明、6日にふもとで降っていた雨が山頂付近では雪となった可能性があるということでした。いよいよ冬が近くなってきた感じがします。

現在、「富士山を世界文化遺産にしよう」と、静岡・山梨両県で合同推進会議を発足させて、活発に運動されています。

富士山は日本を代表する名山中、眺める方向によって好対照の表情をしています。世界的にも非常に知名度が高く、憧れの対象であり、富士山の豊かな文化や自然、美しい景観を人類共通の宝物として永く維持し、みんなで大切にしなければならないと思っています。

さて、今月は米山月間です。本日は、米山委員会に企画をしていただきました。講師は、パストガバナーであり、(財)米山梅吉記念館理事長でもあられます内藤成雄様に公私共に忙しい中おいでいただきました。後程、卓話をいただくことになっております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

10月19日の出席報告

やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
62名	60名	49名	81.67%	100%

欠席者(11名)

橋本喜市君・大森清治君・林 準君・長田吉弘君・狩野住夫君
渋谷 一君・勝又敏樹君・嶋田泉太郎君・小早川豊一君
土屋義明君・大庭健一郎君

10月5日のメーキャップ

9月27日	長	泉	山内強嗣君	10月4日	長	泉	勝又敏雄君
10月3日	沼	北	井口修一君	10月4日	長	泉	芹澤正明君
10月4日	長	泉	林 準君	10月6日	裾	野	戸栗太平君

10月19日のスマイル

本日は内藤パストガバナーのお供で出席しました。よろしくお願ひ致します。

富士吉田ロータリークラブ 前田善通様
先週は観月会にご利用いただきありがとうございました。 斉藤礼志君
富岳太鼓オーストラリア3都市8公演無事終了致しました。ご迷惑おかけしま
した。 山内強嗣君



今、日本は非常な閉塞感があり、このままでいくと、日本が精神的に沈没してしまうのではないかという危機感を持っていると思います。

小泉政権は終わりましたが、「改革無くして前進無し」という美しい巧妙なキャッチフレーズの落とし穴に、今気付きはじめている人が増えているんじゃないかと思われます。改革しながら社会はどんどん後退している。

この最大の原因は小泉、竹中ラインで推進されたアメリカ流「市場原理主義」によることが大半です。

人には勿論能力の差、年齢の差があり、その優劣はいたし方ありませんが、この市場原理主義の社会では勝つ人は勝ち続け、負ける人は負け続ける。所謂working poor層、格差社会層、啄木の働けど働けどじっと手を見るの世界の再現です。

経済はともかく日本の教育の崩壊は遂に落ちるところまで落ちた感があります。人間が人間になるためには自分の住む国を愛し、その郷土を愛し、家族を愛し、親子の情を大切に、友達を愛し、この関連の中で人は成長します。この根源は教育です。ことに小、中、高の新鮮な脳にしっかりたたきこまないと今みたいなことになります。

さて今日は米山月間の話です。このような閉塞感の中で幸い我々はロータリーという組織の中にあります。こんなひどい世の中になって今更ロータリーなんて空念仏だと言う人もたまには居るようですが、私の知っているロータリアンには危機は感じながらもそんな事を言う人は一人もおりません。こんな時だからこそロータリーの言う奉仕という言葉はどう世の中に適応させるか、考えている人ばかりです。

私は米山記念館報第8号の挨拶で以下のことを書きました。「本年のR I会長 ウィリアム・B・ボイド氏のテーマは 率先しよう“ LEAD THE WAY ”です。そして親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために120万ロータリアンが力を合わせて率先しよう。」と呼びかけています。誠に当然で心地良い言葉の響きです。しかしこの言葉だけに酔ってはいけないと思います。

今R Iから伝わってくる沢山の指導方針について、こ

こ数年少しおかしいと思うことはありませんか。これは組織が巨大になりすぎたからの必然？と私には思えてなりません。

ここ数年R Iが進め地区も進めている地区及びクラブの組織変更C L P(クラブリーダーシッププラン)を見ても、ガバナーやガバナー補佐、次期会長も頭を悩ませていると思います。従来の組織の大幅な変更です。つまり常任委員会のトップは今までのクラブ奉仕委員会の中にあった会員増強、退会防止が主要委員会、第2が広報になっています。そして職業、社会奉仕、国際奉仕、新世代の4大奉仕は奉仕プロジェクトにまとめられ、常任委員会第4位になり、それぞれ小委員会とするよう推奨されています。これを皆さんどう思いますか。このC L Pはまだ規定審議会を通過しておりませんし、絶対強制すべきものではありませんが、会員を増やせ、やめさせるな！を常任委員会のトップにおくような会にどうして新会員を勧誘するのですか。よく考えてクラブは独自の見解で組織編成を行っていただきたいものです。

今月は米山月間ですから米山梅吉先生のことを少し話します。米山記念館では平成16年創立35周年行事として「超我の人米山梅吉の楚音」という本を出版しました。沼津北クラブの井口賢明先生(現記念館常務理事)が編集人となって作ってくれました。この本は米山語録で充ち溢れております。殊に井口さんが数年に亘って調べまとめた資料篇は殆んど決定版とも言うべきもので、我々ロータリアンがいかなる時代になっても常にここに還れば、その理解点が見出せる言葉で充ち充ちています。

「人世をより良きものに導こうとするため、先ず友愛友誼に重きをおくので、人は互いに相知り相親しむことの多くなければ、奉仕をする機会も乏しいのである。友愛と奉仕、而してその効果を現代社会の基礎たる実業及び専門職業人において顕著ならしめんとするのがロータリーである」ロータリー月間では皆がこの米山翁の言葉を復唱し、会員に入会を勧める場合にもこの精神「貴台が今の職業をより尊厳するものとし、世に尊敬されるよう皆で学び楽しむ会である。」と言って頂きたいのです。

各クラブはよく考えて自らのクラブの方針を立てて下さるようお願いいたします。財団の重要性、米山記念奨学会、又私がささやかにお願している米山記念館へのご協力もご理解の上すすんでお出し頂くように各個の意識を高めて頂かなくてはロータリーという組織も永続性もその価値もないものだと思います。



御殿場 第2620地区
ロータリークラブ

例会日/木曜日
例会場・事務局/YMCA東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会長/土屋 闔正
幹事/勝又 博文
会報委員長/斉藤 礼志